

「川学び体験」実施結果

日 時：平成17年8月29日（月）9時～16時

内 容：水生生物調査、水質調査、魚とり体験、植物調査

目 的：各小中学校で、川での体験学習を実施する際の先生方の技術力向上、及び安全管理のノウハウを学ぶ。

（スケジュール）

9：00 遠賀川河川事務所集合（事務所マイクロバスで移動）

9：50 歓遊舎着（添田町）

* 水生生物調査（10時～11時）（大月、九環協）

* 水質調査（11時～12時）（坂本先生）

* 魚とり体験（12時～13時）（淵上さん）

（13時～13時30分）少し遅い昼食

13：40 歓遊舎発

14：20 稲築町（役場付近）着

* 遠賀川の植物調査（岡本、西枝）

15：20 稲築町発

16：00 遠賀川河川事務所着（解散）

（参加者）

所 属	氏 名	備 考
感田小学校	田中先生	
上頓野小学校	武内先生・檜山先生	
下境小学校	安田先生	
福地小学校	大峯先生	
直方第三中学校	芦原先生	
古月小学校	秋武先生	
若宮小学校	許斐先生	
近畿大学	坂本先生	水質調査の指導
遠賀川河川環境保全モニター	淵上さん	魚とりの指導
鞍手町 教育委員会	高橋さん	
直方市役所 環境整備室	鶴我さん	
遠賀川河川事務所	松木所長	
遠賀川河川事務所	岡本副長	植物調査の指導
遠賀川河川事務所 河川環境課	大月	水生生物調査の指導
遠賀川河川事務所 河川環境課	梶原	

以上、16名参加。

各調査の実施結果

水生生物調査

(方法) 川の中に入り、小石の裏などについている水生生物を採取し、水のきれいさを示す指標生物の数を調査して、その地点の水質を判断します。
(見つかった指標生物の内、数の多い2種類が2点、その他が1点として集計。)

(結果)

水質階級	採取生物	点数
「きれいな水」	カワゲラ・ナガレトビケラ・ヒラタカゲロウ	4点
「少しきたない水」	コガタシマトビケラ・ヒラタドロムシ・カワニナ	4点
「きたない水」	ヒル	1点
「大変きたない水」	セスジユスリカ	1点

ヒラタカゲロウが最も多く、カワニナが2番目に多かったので、「きれいな水」に分類。

(学んだ事)

- ・水生生物の採取方法 ・水生生物の分類方法
- ・子供達へ発表させる場合の注意点など



(採取)



(分類)

水質調査

(方法) まず、測定器を使わない水質のとらえ方を学んだ。
(流れが早い箇所では泡がたち、なかなか泡が無くならないのは洗剤が原因など。)
その後、COD(化学的酸素要求量)のパックテストと透視度計を使って測定。
(結果) 同じ川の中でも、場所(川の中央・川の縁など)によってCODの値が違った。
(流れが少ない箇所の方が、CODの値は高かった。)

(学んだ事)

- ・器具を使わない水質の調査方法。 ・パックテストや透視度計の使い方
- ・心で自然を感じる事と、それを化学的に数値化する事の重要性。



(パックテスト)



(透視度計)

魚とり体験

(方法) 手網により魚を採取し、ビニール袋等に入れて観察。

ペットボトルに魚を入れ、水槽とした。

(結果) 絶滅危惧種のオヤニラミをはじめ、多数の魚を採取。

(学んだ事)

・魚の採取方法 ・採った魚の観察方法



(採取)



(観察)

植物調査

(方法) 遠賀川の堤防や河川敷に植生する代表的な植物を現地で調査。

(結果) 10種類程度の植物を発見。

(学んだ事)

・遠賀川に植生する代表種 ・川の草花でも学習に利用できる事。



(調査)



(セイバンモロコシ)